

自らの結婚経験をハネに、女性世帯主のための会社を設立 株式会社セブティエン 代表取締役 川崎昌子さん(43)

結婚も出産も離婚も、すべてを肯定的に受け止めたから今の自分があるんです



両親も20代前半の私も結婚が辛せへの道だと信じてた

30歳で就職、32歳で結婚し、出産のために退職。当時の私はこの流れが幸せと信じてたんです。でも専業主婦になって、家事と子育ての毎日の中で、「社会に置いてきぼりにされてる孤独感」に襲われて。それで、社会復帰を断ったんです。しかも中途半端なところではまた嫌になるから、今度は精進に「私でもやれた」ではなく、「私やない」とまで思い

「働く必要はない」と反対し続け、結局、離婚。自分で進んでシングルマザーになったんです。出産も離婚も肯定的に受け止めたから「今の私があるんです」。

でもね、社会のシステムは冷たいですよ。それなりの収入があっても、女性が世帯主だとマンションも借りられない。仕事の面でも、子どもがいるだけで仕事にはなれず、出費の

Profile
長年、美容関係を経て、35歳で結婚。32歳で結婚、24歳で出産。専業主婦を4年経験した後、得意の美容を活かして美容部系スクールを開く。36歳でシングルマザーとしての自らの経験を活かし、女性指導者を支援する会社を創業。紳士部「トータルコーディネーター」をカリスマという新しい職種を創出。

主婦と起業家。

2つの顔を持つ人生

「社会に置いてきぼりにされている孤独感」に襲われた専業主婦時代

しんどいことはあるけど、その人のキャパを超えた問題なんてありません



1.2.3. 大好きなTVにハマる内ニ、アパレルの仕事に興味を持ちアップリックをオープン。その頃、店舗や編集を任せたりしてあると、紳士服のデザイナーに転職を勧め、さらに編集プロダクションの大切な要員、「ネットウリス」などの編集者も担当



4. 従業員は男性のみ。女性の地位を揺るがした仕事を突き進んで数年前、5.「結婚生活は私にとって幸せでない、夢と希望に満ち溢れていない」6. 経営者、そして19歳の頃の再婚、専業主婦として2人でMVに没頭した時のもの。



「株」ユニコーン 所在地●大阪府豊田区
〒595-8502 サンワースタビル11F
TEL0727-0800 <http://www.dyns.co.jp>
Eメール 総務部 adm@dyns.jp
phone 4号 事業内容●マーケティング
サービス一つの企画・販売、サービス業に特化した人材派遣とサポート
シンプ事業部 設立●2000年2月
従業員数●約30名 登録者数●約200名



「女性のキャリアには盲点問題がある」そんな風潮に慣れ、会社を創出した

チャンスやきっかけを受け止めたら、必要なものなんて後からついてくる



Time Line

- 1981年 大手セレクトコンに就職し、総務部専任業務
- 1984年 結婚、転居を機に退社
- 1985年 専業主婦生活
- 1987年 アパレル会社（株）ジェイスジャパン設立
- 2000年 「株」ユニコーンを設立
- 2002年 女性経営者の会「JW5」創設
- 2004年 子会社「ユニコーンスタッフ」設立

道もなく、女性のキャリアには盲点問題がある。ような風潮を感じたんです。だから女性の職業を推進する会社を作ったんです。私に属してきたチャンスです。最終がないとか、知識がないとかで、その足を踏み入るに、必要なものなんて後からついてくるもんです。

でもね、ウチの会社に仕事を求めて来るシングルマザーの大半が「一仕事終わって、でも月30万円ほしい」なんて言う。それは考えが甘すぎると、今まで、考えたこともないようなキャリア仕事をしてでも、母子の生活費を稼ぐという気概がないなら、離婚したらアカン。仕事はしんどいもんです。ただね、その人のキャパを超えた問題はそもそもから、その気になればなんとかできる。子育ても同じですよ。娘は唯一の存在ですが、何とかが立派に育つて今はパレリーナを目標して留学中。「もっとなんか」と、奮い立たせてくれてます(笑)。

結婚、出産、離婚、起業、すべてこのことを知人や周囲の責任にせず、まっすぐ自分宛に受け止めてきたからこそ、今の私があるんですよ。